



多摩市立瓜生小学校

# 瓜生小だより

平成31年度 第2号  
平成31年4月26日

## 前向きに考える

校長 吉田 正行

1. 2年生が行う消防写生会のために、日頃じっくりと見られない消防車が校庭にやってきました。子供たちは興奮しながらも細かいところまでよく観察して描いていました。同じ消防車でも描きたい場所はそれぞれ違うようです。正面が好きな子、上のはしごが見える斜めの位置から描く子、真横から見て格納庫を描く子と様々です。校庭に画板を広げ、楽しそうにクレヨンを走らせていました。



夢中で消防車の絵を描く1. 2年生

子供たちが絵を描いているのを後ろから見ていると、ある子が「ぼく、タイヤを大きく描きすぎて変になっちゃった」とつぶやきました。すると近くで描いていた子が、「そんなことないよ。〇〇くんのタイヤはじょうずだよ。〇〇くんのタイヤは強そうで本物みたいだ」と声をかけていました。言われた子は日頃はおとなしい子ですが、満面の笑みを浮かべ、「ありがとう」と返していました。

照れながらも、とても嬉しそうでした。素直に友達の良さを認め、それをきちんと表現して相手に伝えることができる子、そしてそれを素直に受け入れられる子供たちの姿を目の当たりにして、感心するとともにとても嬉しくなりました。

どうしたらこの子供たちのように前向きに物事を考えるようになれるのでしょうか。一つやさしい方法をお教えします。寝る前、お子さんに今日起きたよいことを2つ挙げるよう声をかけてみてください（反省点ではありませんよ）。ほんのちょっとしたことでよいのです。登校中に大きなダンゴムシを見つけた、給食がおいしかった、ひらがながうまく書けたなど、何気ない小さなことでもプラスのできごととしてとらえることで、前向きに考える習慣がついてきます。そして、友達の気持ちや小さなできごとにも気づくことができるようになります。楽観的な思考が常にできれば、何度失敗しても挑戦していく意欲を持続できる子に育っていきます。

新学期が始まり、約一か月が経ちます。保護者や地域の方々に見守られ、子供たちも新しい環境に少しずつ慣れてきました。また、明日からは10連休が始まり、5月1日からは新しい元号「令和」となります。テレビ等では子供が巻き込まれる交通事故の報道が多くされていますが、くれぐれも事故に遭わないよう注意し、安全で楽しい連休をお過ごしください。連休が明けると、5月25日には子供たちも楽しみにしている運動会を開催します。大きな行事への取組を通して、さらに前向きに考える子供たちを育てていきます。

せいかつしゅうかん

### 【生活習慣のふりかえり 4月】

□に各自のふりかえりを記入する

あいさつ へんじ  
挨拶・返事

自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………

やさしいことば  
優しい言葉

優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………

がくしゅう どくしょ  
学習・読書

家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…

しんせつ こうどう  
親切な行動

親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にさせていただきよう願います。